

■コメント

1. 感染性胃腸炎

定点当たり12.2人と、やや増加しました。基幹病院2か所による迅速診断キット検査結果では、ロタウイルスの報告が増加しています(次頁参照)。

ロタウイルスによる感染性胃腸炎は、ノロウイルスに比べると症状が少し重い傾向にあるといわれています。手洗いの励行など、感染予防対策を心がけましょう。

2. インフルエンザ

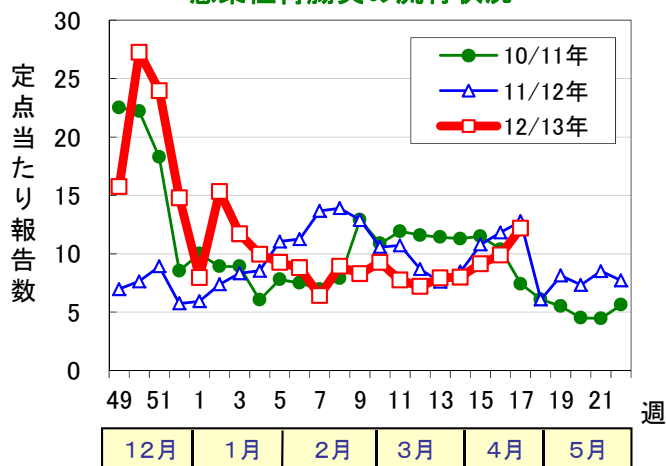
定点当たり1.72人と、やや減少しています。引き続き手洗い・うがいや咳エチケットなど、感染予防に注意しましょう。

3. 風しん

1件の報告があり、今年の累計は8件となりました。

現在首都圏を中心に報告数が急増しており、感染の拡大が懸念されます。風しんの予防接種を受ける場合は、麻しん対策の観点も考慮し、麻しん風しん混合ワクチンを接種することをお勧めします。

感染性胃腸炎の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
インフルエンザ	62	1.72	2.26	◇	ヘルパンギーナ	1	0.04	0.09	
咽頭結膜熱	12	0.50	0.40		流行性耳下腺炎	6	0.25	0.59	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	35	1.46	1.75	▲	RSウイルス感染症	1	0.04	0.07	
感染性胃腸炎	292	12.17	9.08	◇	急性出血性結膜炎	2	0.25	-	
水痘	29	1.21	1.62	▲	流行性角結膜炎	6	0.75	0.95	
手足口病	14	0.58	1.44		細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	-	-	0.28		無菌性髄膜炎	-	-	-	
突発性発しん	11	0.46	0.68		マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.43	
百日咳	-	-	0.21		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→	→	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
4	つつが虫病	1	1	女性(60歳代)・市外
5	クロイツフェルト・ヤコブ病	3	4	男性(30歳代)・1人、男性(80歳代)・1人、女性(80歳代)・1人
5	風しん	1	8	男性(10歳未満)

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎
報告数	広島市	第13週	215	6	18	190	29	5	-	6	-	-	4	5	-	3	-	-	-	-
		第14週	126	5	22	192	25	5	1	14	-	-	3	1	-	7	1	-	1	-
		第15週	63	13	28	219	23	8	-	14	-	1	4	3	-	2	-	-	2	-
		第16週	80	14	23	237	15	12	-	16	-	1	7	7	-	6	-	-	1	-
		第17週	62	12	35	292	29	14	-	11	-	1	6	1	2	6	-	-	2	-
定点 当たり	広島市	第13週	5.81	0.25	0.75	7.92	1.21	0.21	-	0.25	-	-	0.17	0.21	-	0.38	-	-	-	-
		第14週	3.41	0.21	0.92	8.00	1.04	0.21	0.04	0.58	-	-	0.13	0.04	-	0.88	0.14	-	0.14	-
		第15週	1.70	0.54	1.17	9.13	0.96	0.33	-	0.58	-	0.04	0.17	0.13	-	0.25	-	-	0.29	-
		第16週	2.16	0.58	0.96	9.88	0.63	0.50	-	0.67	-	0.04	0.29	0.29	-	0.75	-	-	0.14	-
		第17週	1.72	0.50	1.46	12.17	1.21	0.58	-	0.46	-	0.04	0.25	0.04	0.25	0.75	-	-	0.29	-
	全国	第15週	2.00	0.29	1.62	7.01	1.06	0.28	0.06	0.55	0.01	0.05	0.24	0.19	0.02	0.57	0.02	0.03	0.46	0.03
		第16週	2.89	0.35	2.10	8.10	1.01	0.30	0.09	0.61	0.01	0.05	0.25	0.17	0.01	0.59	0.02	0.02	0.52	0.04

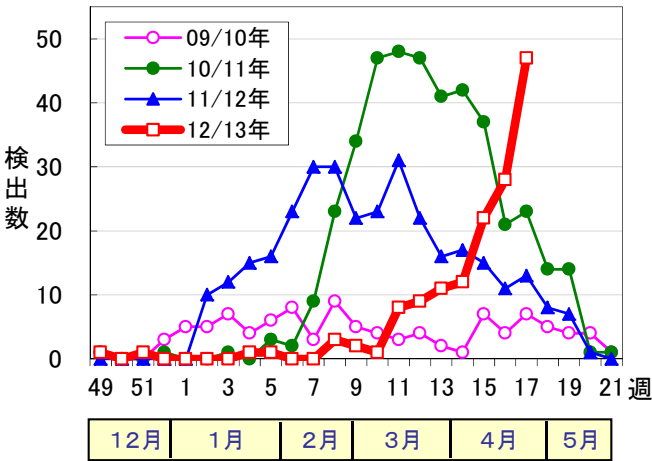
■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
細菌性髄膜炎	発熱(38.4)	0	男	2013/03/19	髄液	D群連鎖球菌
無菌性髄膜炎	発熱(38.6) 上気道炎 髄膜炎	0	女	2013/03/20	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(39.2) 上気道炎	3	女	2013/03/21	鼻汁(拭い液)	ヒトメタニューモウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】ロタウイルスの迅速診断キットにおける検査状況



感染性胃腸炎の原因ウイルスとしては、例年、12月から2月頃はノロウイルス、2月から4月頃はロタウイルスが多くなっています。

市内の基幹病院2か所によるロタウイルスの迅速診断キット検査結果では、今年は3月中旬までは少ない状態が続いていましたが、第11週から陽性数が増加しはじめ、第17週まで7週連続で増加しています。

ロタウイルスによる感染性胃腸炎は、ノロウイルスに比べると患者の年齢層がやや低く(6か月から2歳くらいの乳幼児に多い)、症状が少し重い傾向にあるといわれています。

健康管理に注意し、手洗いの励行など、感染予防対策を心がけましょう。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】
広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp